

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年10月14日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2772401515
法人名	医療法人 りんどう会
事業所名	グループホーム青翠園
所在地	枚方市招提中町3丁目3-23 (電話) 072-809-5115

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 9月 29日

【情報提供票より】(平成 21年 9月 11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 3月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	13人, 非常勤 5人, 常勤換算 17.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 2,000円		

(4) 利用者の概要 (平成 21年 9月 11日現在)

利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	2名	要介護2	7名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	73歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人りんどう会 向山病院、双葉クリニック
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長く地域医療に貢献している医療法人が、真向かいにグループホームを設立し運営しており、共用型指定認知症対応型通所介護と短期利用型共同生活介護もグループホーム内で開設するなど、地域の認知症ケアに総合的に取り組んでいます。「①安心して自立した生活 ②ゆっくり寄り添う介護 ③地域に開かれたホーム」を理念として掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう、家族とともに支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、利用者はゆったりといきいき生活しています。法人の医療部門との医療連携による医療と看護を受けています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。緊急時対応の研修を実施しています。看取りについては、利用者と家族は入居前にホームでの看取りは実施しない方針の説明を受け、同時にホームでの生活をできるだけ長く続けられるよう、医療連携により支援することを伝えています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価については管理者とフロアリーダーだけで完成させたものであり、全職員が参加し認識の共有化を図って作成されたものにはなっていません。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は今年度開催されていない状況です。新しく地域代表や家族の代表になっていただくメンバーもかたまりつつあり、秋から再開する予定で準備を行っています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。訪問の少ない家族には、体調や暮らしぶりについて介護担当者が手紙を書き送付しています。今後「青翠園だより」の発行を計画中です。預り金については定期的に家族に報告し、サインを得ています。家族との面会時や家族会などで、家族の思いや希望、不満を表せるようにしています。今後家族とのコミュニケーションをさらに向上するため、介護計画の見直し時のサービス担当者会議に家族の参加を要請する予定をしています。ご意見箱も設置しています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者は地域の夏祭りや花火大会に参加して住民と交流し、野菜をホームに差し入れてくれる近隣住民の人とも接しています。地域住民を対象に法人理事長とホームの職員が協力をして認知症の啓発のための講演や寸劇をしています。ボランティアと一緒に歌やオカリナ、ピアノ演奏を楽しむこともあります。来年は地域との交流にもっと力をいれる予定をしています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「①安心して自立した生活 ②ゆっくり寄り添う介護 ③地域に開かれたホーム」を理念として掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族とともに支えています。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例の職場会議やリーダーミーティング、ケア会議、毎日の業務等を通じて理念を共有し理念に沿った介護サービスの実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	利用者は地域の夏祭りや花火大会に参加して住民と交流し、野菜をホームに差し入れてくれる近隣住民の方とも交流を図っています。地域住民を対象に法人理事長とホームの職員が協力をして認知症の啓発のための講演や寸劇をしています。ボランティアと一緒に歌やオカリナ、ピアノ演奏を楽しむこともあります。来年は地域との交流にもっと力をいれる予定をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。緊急時対応の研修を実施しています。看取りについては、利用者と家族は入居前にホームでの看取りは実施しない方針の説明を受け、同時にホームでの生活をできるだけ長く続けられるよう医療連携により支援することを伝えていきます。今回の自己評価については管理者とフロアリーダーだけで完成させたものであり、全職員が参加し、認識の共有化を図って作成されたものにはなっていません。	○	自己評価の実施にあたっては、全職員が評価の意義と狙いを理解し、具体的にサービスの改善に活用するため、管理者と職員が一体となって参加することが求められます。
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は家族が参加できなかつたり、地域の民生委員が決まらなかつたりとさまざまな事情があつて、今年度は開催されていません。新しく地域代表や家族の代表になっていただくメンバーもかたまりつつあり、秋から再開する予定で準備しています。	○	運営推進会議は年6回、もしくは概ね2ヶ月に1回開催することが求められます。
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは意見交換や相談する機会をもち、サービスの向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。訪問の少ない家族には体調や暮らしぶりについて介護担当者が手紙を書き送付しています。今後「青翠園だより」の発行を計画中です。預り金については定期的に家族に報告し、サインを得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との面会時や家族会などで、家族の思いや希望、不満を表せるようにしています。今後家族とのコミュニケーションをさらに向上するため、介護計画の見直し時のサービス担当者会議に家族の参加を要請する予定をしています。ご意見箱も設置しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	夏季には非常勤職員の突然の退職などがありました。しかし、法人からの職員補充とベテランの常勤職員が多く、職場でのチームワークが保たれており、新人職員への丁寧な育成教育にも支えられ、利用者への影響は最小限に抑えられています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は年度の職員研修の方針を示し、職員の要望も入れながら外部研修、内部研修の年度計画を作成しています。また大阪認知症高齢者グループホーム協議会等の研修も活用しています。定例の職場会議で伝達研修を行っています。新人の研修についてもマニュアルに従って実施されています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年に4回は、枚方市の介護事業施設委員会が主催する情報交換会に出席するとともに、10ヶ所程のグループホームでも自主的に交流機会を持ち情報交換や見学会・事例研究会をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者には、共用型指定認知症対応型通所介護（定員3名）と短期利用型共同生活介護（空き部屋がある際に1名）をホーム内で開設し、利用者を受け入れて入居につなげています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。元教師であった利用者は、月2回近隣の図書館に行き本や紙芝居を借り出しホームで読み聞かせをし、元和菓子屋の利用者は月1回の手作りおやつの日腕前を披露し、大正琴の得意な利用者も演奏する場面がある等、利用者の得意な分野で家事や行事の機会を通して、学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の協力も得て、職員はセンター方式の暮らしの情報シート等を活用し、利用者の暮らし方の希望や思いを記録し、介護計画に反映しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや願い、心身の状況を把握し、医師や看護師の意向を反映させて介護計画を作成しています。しかし、家族の意向の把握や説明が不十分で、家族の了承のサインも取れていない状況です。	○	介護計画については家族や利用者の希望や意向を十分に把握し、作成するとともに家族の了承のサインを得ることが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に順次見直しされつつあります。毎週のフロアリーダー会議や毎月の職場会議、3ヶ月毎のケア会議のケース検討の結果と、担当職員のモニタリング結果を踏まえケアマネジャーは介護計画の見直しにつなげています。また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームでは、共用型指定認知症対応型通所介護（定員3名）と短期利用型共同生活介護（空き部屋がある際に1名）を開設し、利用者を受け入れています。法人のクリニックの医師・看護師と医療連携体制を組み、利用者の医療と看護にあたっています。家族の都合によってはかかりつけ医への通院介助を行っています。地域のボランティアの支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は医療連携している法人クリニックの医師の月2回の往診と週1回の看護師の健康チェックを受けています。協力医療機関と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。本人や家族の希望でかかりつけ医との関係も維持しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、利用者と家族は入居前にホームでの看取りは実施しない方針の説明を受け、同時にホームでの生活をできるだけ長く続けられるよう、医療連携により支援することを伝えています。今後は利用者の状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行いながら対応していく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は、採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。利用者の体調に合わせ、食事の時間をずらしたり部屋食にしたり、風呂の時間などで柔軟に対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は未調理の食材を食材業者から取り寄せてホームで調理をしています。月1回は行事食として、好みのメニューを買い物から後片付けまでの一連の作業にも利用者が参加し楽しんでいきます。おやつはときどき職員と手作りを楽しんでいます。職員と一緒に食事を摂りながら、利用者へのサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は1日おきに週3～4回ゆっくり寛いだ入浴を楽しんでいます。季節によっては菖蒲湯やゆず湯などの行事風呂も楽しんでいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事や行事の機会に、得意な分野で活躍し張り合いのある生活を送っています。元教師であった利用者は本や紙芝居の読み聞かせをし、元和菓子屋の利用者は手作りおやつの日腕前を披露しています。その他、大正琴の得意な利用者は演奏を行い、将棋が好きな方は将棋を打ちに公民館へ出かけています。和裁や洋裁のできる利用者には繕いの支援をしています。またボランティアと一緒に歌やオカリナ、ピアノ演奏を楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームのリビングから見渡せる広いたんぼや農道等へ、週2回散歩で出かけています。また、週1回は買い物に利用者と共に出かけています。季節の花見にも出かけ、個別にはドライブや図書館、公民館、墓参りにも出掛けています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関入口の扉には市の指導により電子錠が取り付けられています。しかし、操作ボックスに暗証番号を表示し、利用者には施錠による不安や閉塞感を与えないよう工夫し、外出願望には職員の見守りで対応しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、向かいの法人本部で開催される消防署の指導に出席するとともに、ホームでも年2回の消防・避難訓練を実施しています。非常災害時の食料品と水の備蓄も行っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者全員の一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録しています。栄養バランスについては、看護師と食材業者の管理栄養士のアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関口には季節の花壇があり、絵画や手芸作品もある玄関まわりは温かく訪ねやすい雰囲気になっています。窓が大きく、一面に実った稲のたんぼが見渡せ、明るくて開放的なリビング兼ダイニングルームになっています。また、季節感のある手作りカレンダーや手作り作品があり、新聞や本、電子ピアノも置かれ、ゆったりとした生活感のある空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームが準備しているベッドや洋服タンス以外に利用者は整理ダンスなどの各種の家具、ソファ、家族の手作り机、鏡台、仏壇や遺影、家族の写真、手作り作品等、使い慣れた馴染みのある物を持ち込み、個性的で安心して生活できる空間になっています。		